



私は文章を書く。では私らしい自画像とは何だろうと考えた時、それは私自身の年輪をどのように表現するかだと思った。そして物書きの年輪とは脳内を占める思考・記憶だ。あとはそれを自分の年齢にどうリンクさせるか、である。

#### 作品説明

私の脳内、つまり私が私を思うときに出てくる言葉を直感的に列記した。そして私は51歳になる。その年月は、私の脳内を劣化させた。無意識による記憶の改竄や、純粋にイメージだけが残り詳細がおぼろげになってしまったもの。それらはモザイクのように輪郭を崩すが、芯は残り続けるがゆえに二重構造となって、頭に、心に、刻まれたままだ。

意識を凝らせばなんとなく見える『ような気がする』のはそのせいだろう。鮮明と劣化、互いが脳内を行き来し、表裏はその都度入れ替わる。その2パターンはどちらも同じ『私』である。

51-01	297 x 420mm額なし/481x604mm額	タント紙 OHPフィルム レーザープリント	2022	¥10000 (額別) 額¥5000
51-02	297 x 420mm額なし/481x604mm額	タント紙 OHPフィルム レーザープリント	2022	¥10000 (額別) 額¥5000